



*県版(地域版)から、お薦めのニュースを集めました。第1、3、5土曜日掲載。次回は9月3日の予定です。



竜王戦に富士山おやつ

10月28、29日に富士宮市で行われる将棋の第35期竜王戦(読売新聞社主催)第3局で、対局中のおやつにしておうと、市内の高校生団体「富士宮高校会議所」が和菓子店と協力し、富士山をイメージした新スイーツ「森林限界を越えて」を考案した。対局する棋士に渡す「おやつリスト」を決める市の「竜王戦おやつ選びコンテスト」に参加し、今月18日から店頭販売の予約も始まった。メンバーは「藤井聡太竜王の目に留まれば」と期待する。

富士宮対局控え市が公募

同会議所は、養殖ニジマスの^{まじり}残渣を使ったエコ肥料の開発などSDGs(持続可能な開発目標)の実践に取り組む団体。市のおやつ公募を知り、新スイーツ作りに乗り出した。

注目したのは、藤井竜王の今年2月の発言。最年少でタイトル5冠を達成



アイデアを出し合う富士宮高校会議所の参加者(7月、富士宮市内で)＝同会議所提供



富士山をイメージした「森林限界を越えて」

し、「自身の現在地は富士山の何合目か」と記者会見で問われた際の「森林限界(樹木が密生する上限)の手前」との回答からイメージを膨らませた。下層は樹木の緑色、中層は森林限界より上に広がる岩場の茶色、上層は赤富士風の赤色とし、新たな挑戦に期待して「森林限界を越えて」と名付けた。

高校生開発作品 市販へ

これを市内の老舗「華月」が実際の

商品(税込み1個500円)に仕上げた。下層は抹茶ようかん、中層は落花生ペースト、上層はイチゴを使用。落花生、イチゴは富士宮産で、落花生はエコ肥料で育てたものだ。

おやつ選びコンテストには、計38件の応募があり、市は今後、インターネット投票や実食などを経ておやつリストを完成させる。スイーツ開発で2年生リーダーを務めた勝亦海吏さん(県立富岳館高2年)は「チャレンジ自体が得がたい思い出」と話している。